

**地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
改革プランの点検・評価結果について**

平成23年（2011年）8月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会

1. はじめに

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、山形県の北庄内地域における中核的な医療機関として、高度医療や専門医療を提供するとともに、地域住民の健康を継続して支えていくことを目的とし、平成20年4月に山形県立日本海病院と酒田市立酒田病院の2病院を経営統合する形で設立された。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構改革プラン（以下、「改革プラン」という。）は、平成21年2月に策定され、平成21年度から平成23年度の計画期間において、「安心、信頼、高度」の医療提供、「保健、医療、福祉」の地域連携という理念にもとづき、より一層地域に密着し、医療サービスの質の向上に不断の努力を傾注し、安全かつ適正な病院運営に努め、政策医療を含む高度専門医療の提供などの役割を継続的に果たしていくためには、経営基盤の安定化を図っていくことが何よりも重要であるとしている。

この改革プランの点検・評価については、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会（以下、「評価委員会」という。）において行うこととされていることから、当評価委員会において、財務諸表への意見、年度計画に対する評価の実施にあわせて、点検・評価を行うものである。

2. 点検・評価について

この改革プランには、「Ⅰ. 今後、病院機構が果たすべき役割」、「Ⅱ. 経営の効率化にかかる計画」、「Ⅲ. 病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等」についての計画があることから、これらの項目について、点検・評価を行うものとする。

Ⅰ. 今後、病院機構が果たすべき役割について

A 日本海総合病院の機能について

・統合再編により、救急医療、急性期医療、高度医療などについては、日本海総合病院に集約し、庄内地域の中核病院としての役割を担うこととしている。平成20年度の統合再編時より、診療科を日本海総合病院に集約する等の対応が進められ、地域の基幹病院としての役割を担うための整備等が進められている。

(1) 救急医療

日本海総合病院増改築により、増築棟において平成23年度から救命救急センターを開設するための準備が進められている。

(2) 急性期医療

日本海総合病院増改築工事により、病床、外来、手術室等の増改修が完了し、また平均在院日数は、平成20年度の14.5日から、平成21年度は12.7日、平成22年度は11.9日と短縮されており、急性期医療の機能充実が図られている。

がん医療については、がん化学療法・緩和ケア・がん相談等の機能充実が行われ、新たながん検査機器の導入について検討が進められた。

(3) 政策医療等

災害医療に関しては、東日本大震災においてDMAT等を派遣。また、計画どおり災害医療訓練が実施されている。

老人性認知症センターについては、引き続き専門医療相談等が行われ、平成23年度からは日本海総合病院に移行して開設する予定になっている。

また、増築棟には感染症医療に対応する特殊診察室等が整備され、庄内二次保健医療圏域における基幹病院としての役割を担っている。

(4) 人工透析

原則として急性期透析を担うことから、慢性期透析は地域医療連携により他の病院と連携を図っている。

(5) 検診機能（人間ドックなど）

これまで酒田医療センターで行われていた人間ドックについては、日本海総合病院の増改築工事により6病床が整備された。また、一般検診のほか、肺がん、乳がんなどの個別検診を実施し、早期発見、早期治療に努めている。

(6) 周産期医療の充実

平成21年度より日本海総合病院に産科機能を集約し、LDR2室等の整備が行われた。また、助産外来による妊婦検診や出産が行われている。

(7) 地域連携の推進

医師会、他の医療機関、福祉施設、行政機関との連携を進めるため、院内の地域医療室が窓口となり、地域連携が推進されている。

また、ITを利用した地域連携クリティカルパスについては、平成22年度に、地域医療情報ネットワークシステムシステム導入の諸準備が実施され、平成23年度の運用開始で作業が進められた。

B 酒田医療センターの機能について

・酒田医療センターについては、現東棟の改修等を行い、原則として回復期の医療を担うため、平成21年度において中期計画の変更を行い、療養病床110床程度とし、急性期の終わった患者の回復期リハビリテーションや、在宅復帰の支援等、北庄内地域において不足している医療機能の整備を行う計画としており、基本設計・実施設計が完了し、平成22年度末には増改修工事に着手している。

II. 経営の効率化にかかる計画について

(1) 事業規模・形態の見直し

- 両病院の病床数の見直しについては、計画どおり実施されている。

病床数の見直し	平成19年度	平成20年度	平成21年度 【実績】	平成22年度 【実績】	平成23年度 以降
日本海総合病院	528床	525床	525床	646床	648床 程度
日本海総合病院 酒田医療センター	400床	235床	235床	114床	110床 程度
合計	928床	760床	760床	760床	758床 程度

- 日本海総合病院の増築工事については、平成22年8月末に完成し、9月から10月にかけて、酒田医療センターからの診療科移行が予定通り完了した。
- 酒田医療センターについては、平成21年度において変更された中期計画に基づき、平成22年11月に、療養病床への転換が実施された。

(2) 経費節減・抑制対策

材料費、薬品費については、その節減に努め、2病院での共同購入を促進。人件費等の対医業収益比率については、中期計画期間の最終年度において達成するとしている、平成18年度における全国の500床以上の自治体黒字病院の平均値を上回らないこと、という目標については、平成22年度においても引き続き達成している。特に人件費率においては、50.8%を達成している。

また、中期計画期間内に達成するとしている経常収支比率100%以上についても、平成21年度に引き続き、101.4%と達成している。

500床以上の全国自治体黒字 病院の対医業収益比率(H18)		平成21年度 【実績】	平成22年度 【実績】
人件費	52.3%	51.7%	50.8%
材料費	28.4%	24.8%	24.8%
経費	17.3%	15.0%	15.6%

(3) 収入増加、確保対策

(ア) 日本海総合病院においては、7対1看護基本料の確保を行っている。

(イ) 平成21年度より日本海総合病院においてDPCを導入したことにより、営業収益が向上している。

(ウ) 延外来患者数の増、病床回転率の増等により、医療機器の稼働率の向上が図られている。

(4) 診療体制、人員配置の弾力的運用

- ・ 2病院間の医療従事者等については、診療科の日本海総合病院への集約に合わせて弾力的な運用が行われた。
- ・ 医療クランク、看護補助者等の採用により、医師、看護師等専門職の業務拡大が図られ、効率的な病院運営を実施している。

Ⅲ. 病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等、今後、病院機構が果たすべき役割について

1 病床数の見直し

○ 病床利用率に係る目標について、日本海総合病院においては目標値を達成しているが、酒田医療センターにおいては、9月以降の診療科・入院患者の日本海総合病院への移行、及び11月より療養病床に転換したことから、目標値をやや下回ることとなった。

病床利用率に係る目標	平成19年度 実績	平成20年度 ～22年度	平成21年度 【実績】	平成22年度 【実績】	平成23年度
日本海総合病院	84.8% (528床)	80%以上 (525床)	79.3% (525床)	82.8% (646床)	80%以上 (648床程度)
日本海総合病院 酒田医療センター	76.7% (400床)	80%以上 (235床)	83.1% (235床)	74.3% (114床)	85%以上 (110床程度)

2 施設整備の基本方針

日本海総合病院においては、医療機能を統合再編するため所要の施設整備が平成22年度に完成。施設整備に当たっては、病院機能の全体最適化が図られることに留意しながら、医療機能の統合再編によって担うべき診療機能及び患者ニーズ等に対応した施設内容としている。

酒田医療センターについては、増改修工事について、基本・実施設計が平成22年度に完了し、年度末には工事着手がなされている。

建設費については、県・市病院機構の運営により償還が可能となるよう、また、その後の維持管理コストについても留意されている。

3 施設整備のスケジュール

施設整備のスケジュールについては、計画どおり進められている。

①日本海総合病院

- ・基本設計：平成19年度
- ・実施設計：平成20年度
- ・工事期間：平成21年度から22年度

②日本海総合病院酒田医療センター

- ・基本設計・実施設計：平成22年度
- ・工事期間：平成22年度末から平成24年度

4 その他施設

- (1) 職員の勤務時間の特殊性に配慮して、平成21年7月から院内保育所の24時間対応を実施し、また、入所定員増や病児・病後児保育への対応の検討を実施するなど、就労環境の整備が進んでいる。

3. 評価結果のまとめ

平成22年度は、地方独立行政法人設立後3年度目であり、病院機構が運営する日本海総合病院、日本海総合病院酒田医療センターという2つの病院において、医療機能の集約と再編等により、引き続き効率的な業務運営がなされており、診療科目の病院間における再編による医師の負担軽減等も行われており、地方独立行政法人化による病院統合という点において、全国的にも非常に良いモデルケースとされている。

在宅介護支援及び療養支援の面でも、病院内に地域医療室と称する相談窓口が設置されており、他の医療機関等との連携の面で大きく効果を上げている。

職員配置、就労環境の整備の面では、2病院間の医療機能の集約・再編による弾力的な人員配置を行ったこと、院内保育所の24時間対応の実施や、業務改善委員会によるスピード感のある改善と専門職種間の連携強化に努めたこと、院内研修等の実施により、医師や看護師等の専門技能の向上に取り組んだこと、緩和ケア認定看護師等の養成、医師や看護師の負担軽減を図るためにクラークや看護補助者を配置するなど、優れたスタッフの確保と業務負担軽減についても、引き続き積極的な取組みがみられるところである。

財務内容についても、平成20年度以降引き続き黒字決算を計上。平均在院日数の短縮と実入院患者数の増、平成21年度よりDPCを導入したことによる診療単価の増などにより、中期計画全体の目標である経常収支比率100%以上が引き続き達成されていることなどは、高く評価されるものである。

以上、全体として、病院機構が病院の統合再編、法人化のメリットを活かし、これまで2つの病院が培ってきた診療科目等における特色・強みを打ち出している状況が十分見受けられ、また、改革プランに記載された数値目標等についても達成されており、独法化による病院統合の優良な事例としても評価されていることから、病院機構の業務運営に対する努力については、評価委員会としても非常に高く評価するものである。

4. 改革プラン点検・評価結果の公表

改革プランの点検・評価結果の公表については、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構のホームページにより行うものとする。

(別紙1)

団体名 (病院名)	地方独立行政法人山形県・酒田市 市病院機構
--------------	--------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)		21年度		22年度		23年度
				計画	実績	計画	実績	
収入	1. 医業収益 a	14,193	10,453	14,326	14,670	15,141	14,757	
	(1) 料 金 収 入	13,246	10,013	13,519	13,900	14,312	14,098	
	(2) そ の 他	947	440	807	770	829	659	
	うち他会計負担金	442	123	400	339	370	215	
	2. 医業外収益	1,239	912	1,231	1,192	1,279	1,195	
	(1) 他会計負担金・補助金	1,148	864	1,148	1,120	1,172	1,125	
	(2) 国(県)補助金	27	0	18	0	29	0	
	(3) そ の 他	64	48	65	72	78	70	
	経 常 収 益 (A)	15,432	11,365	15,557	15,862	16,420	15,952	
	支出	1. 医業費用 b	14,317	10,469	14,305	14,936	15,133	14,924
(1) 職 員 給 与 費 c		7,354	5,400	7,402	7,695	7,688	7,656	
(2) 材 料 費		3,451	2,727	3,555	3,663	3,749	3,908	
(3) 経 費		2,234	1,468	2,142	2,424	2,363	1,992	
(4) 減 価 償 却 費		1,094	780	994	970	1,010	1,168	
(5) そ の 他		184	94	212	184	323	200	
2. 医業外費用		988	676	982	808	1,059	841	
(1) 支 払 利 息		680	608	577	693	539	726	
(2) そ の 他		308	68	405	115	520	115	
経 常 費 用 (B)		15,305	11,145	15,287	15,744	16,192	15,765	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	127	220	270	118	228	187		
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	20	12	1	12	13	13	
	2. 特 別 損 失 (E)	25	13	16	21	50	19	
	特別損益(D)-(E) (F)	△ 5	△ 1	△ 15	△ 9	△ 37	△ 6	
純 損 益 (C)+(F)	122	219	255	109	191	181		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	0		
不良債務	流 動 資 産 (ア)	6,672	2,016	8,129	7,330	10,218	7,798	
	流 動 負 債 (イ)	980	843	959	1,180	1,981	1,180	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	
	差引不良債務(オ)	0	0	0	0	0	0	
単年度資金不足額(※)	0	0	0	0	0	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.8	100.4	101.8	100.4	101.4	101.2		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	99.1	97.4	100.1	97.4	100.1	98.9		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	51.8	52.5	51.7	52.5	50.8	51.9		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	85.7	84.5	80.5	84.5	81.1	84.5		

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
			計画	実績	計画	実績	
収 入	1. 企 業 債	573	3,433	2,053	3,533	3,245	309
	2. 他 会 計 出 資 金	2,582	0	564	0	1,132	0
	3. 他 会 計 負 担 金	1,027	877	1,068	1,072	1,082	1,079
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	9	0	16	0	7	0
	7. そ の 他	1	0	1	0	0	0
	収 入 計 (a)	4,192	4,310	3,702	4,605	5,466	1,388
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	4,192	4,310	3,702	4,605	5,466	1,388	
支 出	1. 建 設 改 良 費	610	3,439	2,680	3,539	4,570	315
	2. 企 業 債 償 還 金	1,520	1,318	1,655	1,673	1,687	1,737
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	3,480	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	11	0	11
	支 出 計 (B)	5,610	4,757	4,335	5,223	6,257	2,063
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,418	447	633	618	791	675	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,418	447	633	618	791	675
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	1,418	447	633	618	791	675
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
		計画	実績	計画	実績	
収 益 的 収 支	() 1,590,409	() 987,000	() 1,548,551	() 1,459,000	() 1,542,557	() 1,340,000
資 本 的 収 支	() 1,027,352	() 877,000	() 1,068,737	() 1,069,000	() 1,082,647	() 1,079,000
合 計	() 2,617,761	() 1,864,000	() 2,617,288	() 2,528,000	() 2,625,204	() 2,419,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙1)

団体名 (病院名)	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(日本海総合病院)
--------------	------------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)		21年度		22年度		23年度
				計画	実績	計画	実績	
収入	1. 医業収益 a	10,065	10,453	10,423	10,453	13,002	13,246	
	(1) 料 金 収 入	9,536	10,013	9,973	10,013	12,420	12,684	
	(2) そ の 他	529	440	450	440	582	562	
	うち他会計負担金	110	123	122	123	163	209	
	2. 医業外収益	1,006	912	963	895	985	982	
	(1) 他会計負担金・補助金	939	864	891	847	892	934	
	(2) 国(県)補助金	27	0	17	0	29	0	
	(3) そ の 他	40	48	55	48	64	48	
	経 常 収 益 (A)	11,071	11,365	11,386	11,348	13,987	14,228	
	支出	1. 医業費用 b	10,189	10,469	10,351	10,366	12,764	13,344
(1) 職 員 給 与 費 c		5,164	5,400	5,258	5,400	6,433	6,927	
(2) 材 料 費		2,494	2,727	2,642	2,727	3,316	3,727	
(3) 経 費		1,497	1,468	1,479	1,439	1,864	1,755	
(4) 減 価 償 却 費		889	780	774	706	855	841	
(5) そ の 他		145	94	198	94	296	94	
2. 医業外費用		848	676	858	713	1,002	747	
(1) 支 払 利 息		630	608	533	645	529	679	
(2) そ の 他		218	68	325	68	473	68	
経 常 費 用 (B)		11,037	11,145	11,209	11,079	13,766	14,091	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	34	220	177	269	221	137		
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	11	12	0	12	13	13	
	2. 特 別 損 失 (E)	18	13	15	13	49	13	
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 7	△ 1	△ 15	△ 1	△ 36	0	
純 損 益 (C)+(F)	27	219	162	268	185	137		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	0		
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,076	2,016	3,382	2,523	8,153	2,991	
	流 動 負 債 (イ)	656	843	655	843	1,939	843	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	
	差引不良債務(オ)	0	0	0	0	0	0	
単年度資金不足額(※)	0	0	0	0	0	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.3	101.9	101.6	102.4	101.6	100.9		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.8	99.8	100.7	100.8	101.9	99.3		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	51.3	51.7	50.4	51.7	49.5	52.3		
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	85.9	84.5	79.3	84.5	82.8	84.5		

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
			計画	実績	計画	実績	
収 入	1. 企 業 債	404	3,433	1,989	3,433	3,231	209
	2. 他 会 計 出 資 金	2,582	0	564	0	1,124	0
	3. 他 会 計 負 担 金	834	877	900	877	886	899
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	9	0	14	0	7	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	3,829	4,310	3,467	4,310	5,248	1,108
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	3,829	4,310	3,467	4,310	5,248	1,108	
支 出	1. 建 設 改 良 費	441	3,439	2,607	3,439	4,529	215
	2. 企 業 債 償 還 金	1,184	1,318	1,347	1,318	1,341	1,403
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	3,480	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	支 出 計 (B)	5,105	4,757	3,954	4,757	5,870	1,618
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,276	447	487	447	622	510	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,276	447	487	447	622	510
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	1,276	447	487	447	622	510
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
		計画	実績	計画	実績	
収 益 的 収 支	() 1,048,720	() 987,000	() 1,012,922	() 970,000	() 1,055,364	() 1,143,000
資 本 的 収 支	() 834,158	() 877,000	() 900,491	() 874,000	() 886,358	() 899,000
合 計	() 1,882,878	() 1,864,000	() 1,913,413	() 1,844,000	() 1,941,722	() 2,042,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

(別紙1)

団体名 (病院名)	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(酒田医療センター)
--------------	-------------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)		21年度		22年度		23年度
				計画	実績	計画	実績	
収入	1. 医業収益 a	4,128	4,213	3,903	4,217	2,139	1,511	
	(1) 料 金 収 入	3,710	3,883	3,546	3,887	1,892	1,414	
	(2) そ の 他	418	330	357	330	247	97	
	うち他会計負担金	332	216	278	216	207	6	
	2. 医業外収益	233	323	268	297	294	213	
	(1) 他会計負担金・補助金	209	299	257	273	280	191	
	(2) 国(県)補助金	0	0	1	0	0	0	
	(3) そ の 他	24	24	10	24	14	22	
	経 常 収 益 (A)	4,361	4,536	4,171	4,514	2,433	1,724	
	支出	1. 医業費用 b	4,128	4,595	3,954	4,570	2,369	1,580
(1) 職 員 給 与 費 c		2,190	2,295	2,144	2,295	1,255	729	
(2) 材 料 費		957	936	913	936	433	181	
(3) 経 費		737	1,005	663	985	499	237	
(4) 減 価 償 却 費		205	269	220	264	155	327	
(5) そ の 他		39	90	14	90	27	106	
2. 医業外費用		140	97	124	95	57	94	
(1) 支 払 利 息		50	50	44	48	10	47	
(2) そ の 他		90	47	80	47	47	47	
経 常 費 用 (B)		4,268	4,692	4,078	4,665	2,426	1,674	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	93	△ 156	93	△ 151	7	50		
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	9	0	1	0	0	0	
	2. 特 別 損 失 (E)	7	8	1	8	1	6	
	特別損益(D)-(E) (F)	2	△ 8	0	△ 8	△ 1	△ 6	
純 損 益 (C)+(F)	95	△ 164	93	△ 159	6	44		
累 積 欠 損 金 (G)	0	△ 160	0	△ 319	0	△ 275		
不良債務	流 動 資 産 (ア)	4,596	4,807	4,747	4,807	2,065	4,807	
	流 動 負 債 (イ)	324	337	304	337	42	337	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	
	差引不良債務(オ)	0	0	0	0	0	0	
単年度資金不足額(※)	0	0	0	0	0	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.2	96.7	102.3	96.8	100.3	103.0		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.0	91.7	98.7	92.3	90.3	95.6		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	53.1	54.5	54.9	54.4	58.7	48.2		
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0		
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	85.0	84.5	83.1	84.5	74.3	84.5		

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
			計画	実績	計画	実績	
収 入	1. 企 業 債	169	100	64	100	14	100
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	8	0
	3. 他 会 計 負 担 金	193	177	168	195	196	180
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	0	0	2	0	0	0
	7. そ の 他	1	0	1	0	0	0
	収 入 計 (a)	363	277	235	295	218	280
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	363	277	235	295	218	280	
支 出	1. 建 設 改 良 費	169	100	73	100	41	100
	2. 企 業 債 償 還 金	336	321	308	355	346	334
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	11	0	11	0	11
	支 出 計 (B)	505	432	381	466	387	445
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	142	155	146	171	169	165	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	142	155	146	171	169	165
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	142	155	146	171	169	165
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	20年度(実績)	21年度		22年度		23年度 見込
		計画	実績	計画	実績	
収 益 的 収 支	() 541,689	() 515,000	() 535,629	() 489,000	() 487,193	() 197,000
資 本 的 収 支	() 193,194	() 177,000	() 168,246	() 195,000	() 196,289	() 180,000
合 計	() 734,883	() 692,000	() 703,875	() 684,000	() 683,482	() 377,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。